

$$\text{街路係数} = t \cdot F(W) + \sum X$$

t : 街路の交通上の性格・系統性及び連続性等街路の等級を表わす指数で、表-1で与えられる。

F(W) : t値を幅員に応じて修正する係数で、次式により表す。

$$F(W) = \frac{W}{W+3}$$

W : 道路幅員 (m)

ただし、W=3.0m以下はF(W)=0.5とする。

駅前広場は幅員6mの歩道とみる。ただし、駅部については幅員26mとみる。

X : 街路の構造、修景による宅地の利用価値・効用及び街路の整備水準を表わす係数で表-2で与えられる。

表-1 t値

区 分	値
準 幹 線	1.5
区画幹線	1.2
区画街路	1.0~1.2
行止り路	0.5

表-2 X値

・街路の構造、修景

区 分	値
①アーケード	0.30
②歩 道	0.05
③歩道(駅前広場)	0.50
④街路修景	0.05

・街路の整備水準

区 分	値
⑤舗装なし	-0.05